

宝木校区 人権協だより

人権の視点でニュースや
出来事に敏感になろう

会長 秋山 智博

ひき続き会長を2年間務めることになりました、よろしくお願ひいたします。

最近のニュースの中で、私たちの人権尊重社会づくりにとって看過できないと思われるものから、いくつか取り上げます。

①子ども虐待について



「虐待かも?」と思う
たり1800(いちちは
やく)3桁ダイヤル
(地域の児童相談所
へつながります)へ
電話してください。

②子どもや高齢者に関する交通事故

大津市の信守待ちしていた保育
園外活動中散歩の園児に車が突



つ込み16名の
死者が出た交通
事故や、高齢下
ライバーのアク
セルとブレーキ
の踏み間違いに
よる相次ぐ交通
事故。
地域内の横断歩道を含めた危険箇
所の点検や、車への安全装置支援
などを求めて、悲惨な交通事故を
防げないか。

③強制不妊手術・違憲

障がいがある人達に子どもを
産めなくさせる旧優生保護法は、
個人の尊重や幸福追求権を保障し
た憲法13条に違反・無効だとする



仙台地裁判決
ができました。
子を産み、育
てるかどうかが
を決める権利
を「幸福の源
泉」と位置付

け、「権利侵害の程度は極めて甚
大」と指摘しました。この人権侵
害の法律を1948年に全会一致
で制定した国会や1996年に改
正されるまで50年近く続いた過
ちを糾^{ただ}せなかつた教訓はたくさ
んあります。

④丸山衆議員に対する 糾弾決議

北方領土返還に関し、「戦争」を
肯定するような発言に対し(領土
を取り返すには戦争しないと、ど
うしようもなくなかないか
など)、「国会議員として
の資格はない」など
とする「糾弾決議」を
全会一致で可決。国是
といわれる平和主義
(憲法の条)に反してい
ないか、また憲法を守る義務(同
99条)を冒^{おか}していないかが問わ
れています。国民として大いに議
論しようではありませんか。



⑤部落差別発言に抗議

今夏の参院選比例区に日本維新

の会から公認候補として立つ予定
だった元フジテレビアナウンサー
長谷川豊氏が、
被差別部落への
差別をあからさ
まに助長しまし
た。本人は撤回
・謝罪したが、
差別意識がき出
しの発言は断じて許されません。
同氏は今年2月に都内で講演し、
江戸時代の身分制度に言及し、身
分が低いとされた人たちは犯罪集
団だとしたもの。現段階でこれを
裏付ける資料はないのに、思い込
みや偏見で発言したものが、憲法
の「基本的人権の尊重」や「部落
差別解消法」の理念を踏みこじる
ものです。



人権のまちづくりを ついでに

5項目取り上げましたが、いず
れも私達の人権尊重社会づくり
にとって、考察していくことが大事
です。「ご意見をお待ちしていま
す。今までの以上に、
人権のまちづくりを
めざしていきたいと思います。



部落選出人権学習推進員

令和元年度

上 光	公 納 昭 弘
	山 根 広 人
下 光 元	水 石 明 夫
	池 原 準
夏ヶ谷	山 本 茂 巳
	秋 山 智 博
常 松	田 中 宏 幸
富 吉	村 上 彰 男
宝 木	岩 田 直 樹
	井 上 弘 嘉
水 尻	山 本 典 浩
奥 沢 見	水 田 孝 行
	中 本 繁 晴
酒 津	西 垣 守
	澤 田 保 男

役員名簿

令和元年度～令和2年度

職 名	集 落	名 前	区 分
会 長	夏ヶ谷	秋 山 智 博	解放同盟気高支部長
副 会 長	富 吉	吉 田 和 行	宝木地区公民館長
	酒 津	西 垣 守	酒津地区公民館長
人 権 啓 発 員	夏ヶ谷	秋 山 智 博	解放同盟気高支部長
	宝 木	小 塩 信 親	人権啓発推進員
部 落 代 表 事 務 局	酒 津	西 尾 雅 彦	部落区長・福祉委員 気高地域振興会議委員
	上 光	公 納 昭 弘	部落区長・福祉委員
	下 光 元	水 石 明 夫	部落区長・福祉委員
	夏ヶ谷	山 本 茂 巳	部落区長・福祉委員
	常 松	田 中 宏 幸	各部落選出人権学習推進員
	富 吉	村 上 彰 男	部落区長・福祉委員
	宝 木	吉 村 文 夫	部落区長・福祉委員
	水 尻	山 本 典 浩	部落区長・福祉委員
	奥 沢 見	水 田 孝 行	部落区長・福祉委員
	監 査	酒 津	瀧 本 昭 良
夏ヶ谷		居 川 結 香	学 識 経 験 者
顧 問	酒 津	河 根 裕 二	気高地域振興会議委員
	上 光	岡 田 寿 晃	学 識 経 験 者
事 務 局	宝 木	原 田 絵 里 子	宝木地区公民館
	酒 津	奥 谷 小 百 合	酒津地区公民館

令和元年度
事業予定

＊小地域懇談会

今年度も9月頃から各部落にて開催予定です。議題は未定ですが多くの方に共通するテーマにしたいと思います。

DVD 視聴を中心に、同じ部落の住民同士気楽に話し合えるような学習にしたいと思います。

多数の方の参加をお待ちしております。



令和元年度 事業計画

期日	会	研 修	広 報
4月	監査会		
5月	三役会・総会		
6月			人推協だより発行
7月		視察研修 推進員全体研修会	講座 集会・大会
8月	三役会 役員会	各 部 会	
9月		小地域懇談会	
10月			
11月			
12月	三役会	推進員全体研修会	
1月	役員会		
2月			
3月	三役会	交流会	人推協だより発行

編集後記

最近、子どもや高齢者に関する交通事故など悲しいニュースが多く、心が痛みます。

宝木校区人権啓発推進協議会では、小地域懇談会・心れあい交流会等で、身近な人権問題について考えたり交流の輪を広げていけたらと思っています。

周りの人の事を理解し、思いやる心ができる地域にしていきたいです。

